

安中市 議会だより

◆発行日 平成28年 1 月29日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 碓氷印刷



「峠の湯」オープン式典

新年のごあいさつ

議長 吉岡 完司
副議長 今井 敏博

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健康で、希望に満ちた新春を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

昨年の五月にそれぞれ議長、副議長に就任し、早いもので八カ月が経過しました。その間、皆様方の力強いご支援によりまして、議会活動に専念し市政の向上に微力を尽くすことができましたことに厚くお礼を申し上げます。

このような中、昨年九月本会議で設置されました議会改革特別委員会の中で、今後は議会基本条例の制定、政治倫理条例の制定、子ども議会の開催等、開かれた議会を目指し改革を行ってまいりたいと考えております。

市民の皆様方には、なお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十七年安中市議会第四回定例会は、十二月九日から二十一日までの十三日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、条例の制定や一部改正、平成二十七年年度補正予算など、合わせて十四件が提出されました。

定例会のあらまし

◇9日≡本会議 会期の決定、議案十四件を上程(内一件を即決)。議案を各委員会に付託。

◇11日≡総務文教常任委員会

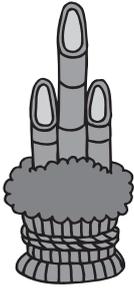
◇14日≡福祉民生常任委員会

◇15日≡経済建設常任委員会

◇16日≡本会議 一般質問

◇17日≡本会議 一般質問

◇21日≡本会議 請願・陳情審査
報告、委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案十三件を原案可決。
閉会。



今定例会における一般質問は、12月16日と17日に行われ、11名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。
質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう!

次の定例市議会、2月29日～3月18日までの予定です。



小川 剛 (清風クラブ)

環境対策について

ゴミの減量化について

問 生ゴミ処理が重要だが、学校給食の残渣処理の現状はどうか。

答 松井田の野菜くずは可燃ゴミで回収、その他は市内の養犬業者に渡しリサイクルしています。安中地区は各校処理のためリサイクルは進まない状況です。

問 他市では民間会社での堆肥化や生ゴミ処理機でゴミ削減を進めているが当市はどうか。

答 教育委員会でも以前提案を受けましたが、食材の仕分けや回収費用で進まない状況です。

ゴミの回収について

問 ゴミ捨て場が遠く、一人暮らしの高齢者や障がいのある方へのゴミ出し支援はどうか。

答 一人暮らしでゴミ出しが出来ない方は介護サービス利用者が多いため、担当ヘルパーさんの代行サービスを受けます。また、安中市社会福祉協議会では、福祉サービス「きずな」で有料代

行サービスを実施しています。

循環型社会の実現について

問 エコスポットが満杯の声やポイント加盟店の増加はどうか。

答 随時大型回収機に更新予定です。ポイント加盟店増加は、事業者に検討を依頼します。

電気自動車への対応について

問 温暖化防止に向けた電気自動車充電設備設置計画はどうか。

答 碓氷峠鉄道文化おらで今月中にも運用開始予定です。峠の湯も設置に向け協議中です。



電気自動車充電設備



柳沢 浩之
(清風クラブ)

市営墓地建設・ 高齢者の自動車運転の安全について

市営墓地建設の現状について

問 平成二十七年度の施政方針で適地の選定や多様な価値観などの調査を進める。九月定例会に請願陳情が提出され可決した。この間、どのような調査・検討を行ってきたのか。

答 未利用市有地の確認や他市の意識調査を参考に、市営墓地建設にあたっての課題等を検討しているところです。

問 「墓地が見つからない」など市民から切実な意見が出されている。市民の声をどのように受け止めているのか。

答 市民の皆様からのご要望は、切実なものとして真摯に受け止めています。建設にあたっては、多様化する墓地の考え方や購入を希望している墓地の規模などを確認する必要があると考えています。

問 市営墓地が建設されている他市は、市民の意見を行政が受け止める仕組みはありますか。

答 他市の霊園では、市民の意見を行政が受け止める仕組みが整っています。建設にあたっては、多様化する墓地の考え方や購入を希望している墓地の規模などを確認する必要があると考えています。



他市の霊園

止め建設に至った。他市の取り組みを教訓として、市営墓地建設にどう活かしていくのか。

答 適地の選定や規模・内容など検討する中で活かしていきます。

問 未利用の市有地を活用して、市営墓地を建設することが有効的と思うが。

答 適地の選定として、未利用市有地の活用も選択肢の一つとして検討していきます。

その他、高齢者の運転事故防止について質問しました。



小林 克行
(民声クラブ)

廃校の利用・防犯、交通事故対策・ マイナンバー制度について

旧県立安中高校跡地利用について

問 今後の取得及び利用計画は。

答 利活用の方向性を絞り込んだ上で、平成三十年中には取得したい旨を県に提出し理解をお願いしています。校舎の利用については、耐震補強の費用を含めた検討や、新庁舎構想の候補地の一つであり、また西毛広域幹線道路にも近いこともふまえてバランスを考慮し検討します。

防犯、交通事故対策について

問 防犯灯の新規設置の補助金の増額の検討は。

答 防犯灯のLED化に伴い、各地区の維持管理費も若干緩和されると思いますが、補助のあり方については今後も検討します。

問 寒い季節になると、朝方にカーブミラーが曇っていて大変危険です。曇らないカーブミラーの設置の検討は。

答 現在安中市では採用していません。コストや耐久性も含め研

究課題とさせていただきます。

問 マイナンバー制度について。番号が漏れた場合の対応は。

答 個人がカードを紛失した場合は、二十四時間三百六十五日対応のコールセンターに問い合わせでき、申請や市長の特権で番号の変更も可能です。

問 前橋市のような、マイナンバーの市独自の活用方法の検討は。

答 市独自の利用計画は今のところありませんが、二丁目等があれば積極的に検討します。



旧県立安中高校校舎



櫻井喜久江 (無所属)

公共交通機関・幼稚園、小中学校の児童生徒のありかた・観光について

公共交通機関について

問 山間部や高齢者にとって命綱である公共交通機関を今以上に利用しやすい形にできないか。

答 利用者の利便性の向上に向けて見直しを検討し、総合的に研究を行う考えです。

幼稚園、小中学校の児童生徒の教育面でのあり方について

問 学校でのいじめについては。

答 昨年「安中市いじめ問題対策連絡協議会等条例」を制定、また各学校で「いじめ防止基本方針」を作成、いじめ防止子ども会議では、いじめ防止缶バッジを作るなど、取り組んでいます。

問 小中学校の不登校児童生徒の状況については。

答 変動的ですが数名います。教育相談やカウンセリングを行い、関係機関とのケース会議の開催等に対応しています。

問 個性を育てる教育について、また、文科省特別選定ドキュメ

ンタリー映画「みんなの学校」を教育の参考にしてはどうか。

答 あいさつ運動等を家庭地域と連携して取り組んでいます。教師が子どもものよい点をほめる、など個性を育てる工夫をしています。今後も教育に参考になる事柄を検討していきます。

峠の湯オープンに伴う周辺の観光の充実について

問 旧碓氷峠でのヒルクライム開催や幼児の遊具の充実について。

答 今後の観光の参考にします。



「峠の湯」の売店



佐藤貴雄 (民声クラブ)

「高崎安中拡幅」の周辺設備・資源の有効活用推進について

高崎安中拡幅の周辺整備について

問 国道十八号拡幅事業の周辺整備は本市のまちづくりに欠かせない事業だが、供用時期と今後の事業予定はどうか。

答 今年度中に安中駅東から久芳橋西を四車線化するもので、今後は西毛広幹道と接続する市役所入口交差点までを要望します。

問 第一中学校の通学路整備は。

答 国道下のトンネル状通学路は、冠水防止構造を検討します。

問 安中駅の駐車場整備は移住定住・交流人口の増加に係る重要な事業だが、市の考えは。

答 近隣に適地がありませんが、非常に重要な課題であるので整備に向けて研究・検討します。

問 久芳広場の利便性向上として九十九川に人道橋新設はどうか。

答 関係機関と協議し、安全・迅速な移動方法を検討します。

資源の有効活用推進について

問 二年前から始めた古紙行政回

収の売却益と経費は。

答 二十六年度は百二十六万円あまりの利益で、経費は委託料が約四百五十三万円です。

問 有価物集団回収(廃品回収)で実施している団体に交付されている報奨金の推移は。

答 二十四年度以降減少傾向です。古紙行政回収が有価物集団回収の成果に与えている影響は。

答 その影響も考えられますが、新聞等の販売量減少やスーパー等の店頭回収も考えられます。



拡幅が進む国道18号



遠間 大和
(新政会)

新庁舎について

新庁舎について

問 今までの増改築等の経緯は。

答 旧庁舎を昭和三十四年に、中庁舎を昭和四十四年に、保健センターを昭和六十一年に、南庁舎を平成十三年に順次建築しております。構造耐震指数は、旧庁舎が〇・一四、中庁舎が〇・三四との診断を受けております。

問 耐震指数が非常に低い数値であるが、どのような状況であると認識すればよいのか。

答 旧庁舎がDランク、中庁舎がCランクで、大地震が発生した場合には被害を受ける可能性が高いと思われる。

問 本年度中に、庁内会合第二回目をいつ開催するのか。

答 時期は未定ですが、年度内を予定しております。

問 現庁舎の問題点と課題は。

答 大地震時に建物の倒壊の恐れがあり、市の行政運営及び防災、災害対策拠点としての役割を果

たせない状況になると考えられます。

問 庁舎等建設基金の状況は。

答 現在高は、約二千七百六十万円であります。

問 新庁舎建設の財源は。

答 P F I方式による民間資金やノウハウの活用を含め、あらゆる可能性を検討して参ります。

問 本格的な検討組織へは、いつ移行するのか。

答 検討をあと数回重ね、議論を深めて参ります。



老朽化した市庁舎



武者 葉子
(公明党)

「ひきこもり」の社会復帰支援・ごみの削減について

相談体制について

問 近年、大きな社会問題となっている「ひきこもり」状態にある方々の実態状況は。

答 調査は行っていませんが、国の推計によりますと、六カ月以上社会的参加を回避し、家庭に止まり続ける状態の十五歳から三十九歳の人は六十九万六千人。全人口の〇・五％の割合になります。本市の人口に換算すると、およそ三百人と推定しています。

問 本市への相談状況は。

答 相談窓口は、福祉課、健康づくり課、支所保健福祉課で十七件の相談を受け対応しています。

問 相談できないでいる人が多いと思うが、家族や親族からの相談をどのような支援に繋がっているのか。

答 市の保健師が、県のひきこもり支援センター、安中保健福祉事務所など県の機関や医療機関、

相談支援事業所、民生委員等と連携し支援を継続しています。

問 気軽に寄って話のできる居場所づくりが必要ではないか。

答 社会参加を促すため、自宅以外の居場所づくりは必要と考えます。支援団体と連携します。

問 地域での支援について

答 サポート体制は。

問 学習会やワークショップを開催し体制の構築を進めます。その他、ごみの削減について質問しました。

答 学習会やワークショップを開催し体制の構築を進めます。

問 その他、ごみの削減について質問しました。

答 学習会やワークショップを開催し体制の構築を進めます。

問 その他、ごみの削減について質問しました。

答 学習会やワークショップを開催し体制の構築を進めます。



福祉課の相談窓口



高橋 由信
(朋の会)

防災対策・岩野谷地区に建設計画の大規模太陽光発電所について

市民参加型の避難訓練の実施について

問 各地で市民参加型の避難訓練が行われている。本市における現状と課題は。

答 実施計画として、来年三月に、安中市総合防災訓練を行う予定で、関係団体や関係機関との調整を行っています。本市単独で総合防災訓練を行うのは初めてのため、コンパクトではあるが、より多くの市民に参加していただき、防災訓練を通じて「災害から生命を守る」意識の醸成と向上に努めることを目的として実施する予定です。

大規模太陽光発電所設置計画における市との協議内容について

問 予定地が岩井川の源流にあたる森林約百四十ヘクタールを伐採し、パネル十六万枚を設置予定の大規模開発計画のため、水害・土砂災害・濁水・パネルの温度上昇による問題等、地元住



大規模太陽光発電所建設予定地

民の不安が高まっている。市民に不安がある以上、協定を結ぶのは当然であり、行政として、しっかりと監視するためには、業者と協定を結ぶべきと思うが考えは。

答 大規模開発計画協議書の、審査の過程で指摘された事項について行政として、しっかりと監視する必要がある。将来的な不安を払拭するため、協定を結ぶ方向で、協議を行い検討します。



巽 久男
(新政会)

米山公園管理、改善、利用・旧安中高校の跡地について

米山公園管理、改善について

問 芝等が伸びていた状況で利用に支障を来していた。植栽管理の状況は。

答 例年四月下旬に入札で管理業者が決まり、実質的には五月から翌年三月までの管理となります。

問 東屋「静観庵」の老朽化の状況から修繕の計画については。

答 市政三十周年記念事業の一つとして、平成四年四月に供用が開始され、市民に親しまれてきました。静観庵につきましては、老朽化が顕著であると認識していますが、今後は、修繕整備に向けた検討をします。

問 現在、ホタル池や噴水、流水池に水が涸れている状況の理由は。

答 池の水源は井戸の水を汲み上げ補給していましたが、井戸水が枯渇した模様で水の補給がかなわない状況にあります。池の



修繕整備が待たれる米山公園

底部にひび割れが多数発生しており、池に水が溜まらない状況になっていきます。改善するには、相当の費用を要することが予想されることから、別の利用方法を含めて検討していきます。

問 水が溜まらず池としての機能を持たないのであれば、親水的な設備に改修できないか。

答 費用面で課題も多く、すぐに結論に至りませんが、提案の内容を含めて検討します。

その他、一項目を質問しました。



櫻井 ひろ江
(日本共産党安中市議員)

太陽光発電・すみれヶ丘聖苑・子育て支援について

太陽光発電施設開発のルールづくりについて

問 環境省は、国立・国定公園等、自然公園内の工作物についての施行規則に、太陽光発電施設の基準を設けた。これを参考に早くにルールを定めるべきだが。

答 条例制定に向けては、パブリックコメント等の手続きを経る必要もあり、一定の期間を要しますが、早期制定に努力します。また、条例制定までの間、安中市地域開発事業指導要綱の対象に太陽光発電施設を含める改正をし、事前に手続きをするよう指導を始めました。

太陽光発電施設開発のルールづくりの基本的な考え方について

問 国の基準では、眺望への支障を来す場合等、厳しくなっている。環境省への要請行動の中では、アセスメントなども含め、自治体の条例で対応して欲しい旨の話もあった。市の考えは。

答 基準については各種要件や許可制または届出制を含め、関係部署と協議調整しています。

すみれヶ丘聖苑利用拡充について

問 築三十年たち、市民ニーズも変わってきている。通夜、家族葬ができるようにしてはどうか。

答 老朽化が進んでおり、改修にも多額の費用がかかりますが、他市の状況も参考に、検討する必要がありますと考えています。

この他に、太陽光発電で一点と子育て支援で二点質問しました。



すみれヶ丘聖苑



金井 久男
(日本共産党安中市議員)

自衛隊の委託業務と安全保障関連法・文化財保護・特別弔慰金制度について

各種訓練について

問 一般市道での銃火器を携帯しての夜間歩行訓練は何が目的か。

答 市街地の中を、部隊として行動するのに慣れるためです。

問 訓練の詳しい説明と了承はどうなっているのか。

答 了承は求められません。説明を聞いて広報で周知しています。

問 戦争体験者などが訓練を見て「まるで戦時中に戻ったかのようを感じる。」というが、断ることはできないのか。

答 国の決定なので断ることは困難です。

卒業生名簿の提出について

問 卒業を前にした息子に「入隊案内」が送られてきて、ある母親が驚いたと語った。市民の戸籍、住民票などを自衛隊に提供しているのか。

答 自衛隊施行令で、募集のために必要な対象者情報として十八から二十五歳の氏名、年齢、住

所、性別の四情報の提供が請求されてきました。

問 市民は、知らない人が多い。やめるわけにはいかないのか。

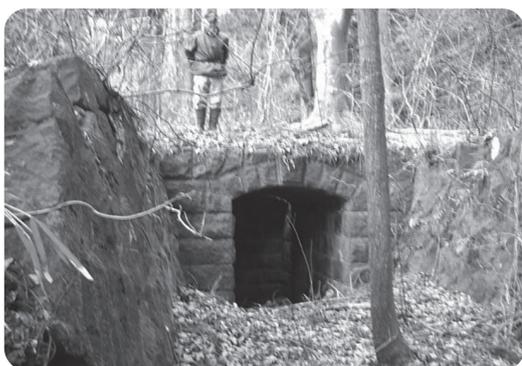
答 義務でないので、本年度から閲覧としました。受託事務の一部なので拒否はできません。

坂本の発電所跡について

問 坂本地区に残された水力発電所の遺構を保存すべきでは。

答 山林内などに存在すると思われるですが確認していません。

その他、一項目を質問しました。



旧高芝発電所の排水口跡

総務文教常任委員会行政視察報告

総務文教常任委員会では昨年の十月初旬、島根県出雲市でコミュニティスクールについて、島根県倉吉市では定住促進について、先進地の取り組みを本市の施策に活かすため行政視察を行いました。

出雲市は、平成十八年から地域学校運営理事会制度を導入し、現在はすべての幼・小・中学校でこの制度を取り入れていきます。学校の諸課題に関して、地域・学校・家庭の信頼関係に基づき、地域住民や保護者が学校運営に直接参画・協働する学校運営システムを構築する必要性を求めたのでした。

安中市では全小中学校で学校評議員制度等を設置し学校と地域との連携を図っていますが、この制度を発展させた独自の取り組みで、さらに特色ある学校運営も実現可能であると思います。

鳥取県は県を挙げて移住定住施策に取り組んでおり、なかでも倉吉市は民間の取り組みによる「J

U（移住）カフェ等、官民協働による施策推進で年間移住者数が増加しています。人口五万人あまりの当地で、移住定住者が多い理由は、情報発信ときめ細かな支援制度です。

地方創生としても移住定住施策は重要課題です。高速道路と新幹線が通り、軽井沢で気軽にシヨップイングができてデイズニールランドに日帰りができるまち・安中市。移住定住施策はアイディア次第で限らない可能性を秘めています。



定住促進について学ぶ(倉吉市)

福祉民生常任委員会行政視察報告

福祉民生常任委員会は、十月十四日から十六日までの日程で、兵庫県相生市の「定住・子育て支援事業（あいおいが暮らしやすい十一の鍵）」について、及び愛媛県東温市の「次世代エネルギーパークを起点にした循環型まちづくりについて」行政視察を行いました。

相生市は、一九〇七年の播磨船渠（現IHI）の設立以来、戦後の経済成長と共に発展し、昭和四十九年をピークに人口減少を続け、十五歳未満の年少人口が県下で最下位（減少率△六二％）になりました。この状況を解決するために、

平成二十三年より「子育て応援都市宣言を行い、子育て世代をターゲットに定住促進を図る」こととし、「あいおいが暮らしやすい十一の鍵」として出産祝金支給から給食費無料化、住宅取得奨励金等の支援を推進しています。

東温市の次世代エネルギーパーク計画は、温暖化対策やエネルギー

問題の具体的な取り組みとして市民へ家庭用太陽光発電を、民間企業へメガソーラー導入等を、市自体で再生可能エネルギー設備の導入等、市内全域で行われていきます。今後も新エネルギービジョン等の計画策定をしており、環のまちづくりを目指しています。

どちらの取り組みも、本市が今後取り組んで行くまちづくり事業と関係があり、人口問題とエネルギー問題を考えるために大変勉強になる研修ができました。



エネルギー循環型まちづくり視察(東温市)

平成27年12月定例会 議員個人の賛否結果一覧表

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
その他の議案は、全員賛成で可決されました。

議案名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	結果	
	議員名	金井久男	櫻井ひろ江	遠間大和	壘次雄	巽久男	小林克行	太田進一	櫻井喜久江	小川剛	柳沢浩之	今井敏博	吉岡完司	佐藤貴雄	吉岡登	高橋由信	武者葉子	上原富士雄	齊藤盛久	奥原賢一	田中伸一	柳沢吉保	廣瀬晃		
議案第100号 安中市農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第101号 安中市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について		×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第103号 安中市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第105号 安中市市税条例の一部を改正する条例について		×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第107号 安中市農漁業災害対策特別措置条例の一部を改正する条例について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第109号 安中市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する条例について		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第110号 平成27年度安中市一般会計補正予算(第4号)		×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※吉岡 完司 議長は、採決に加わらないため「-」としています。

【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席】

人事関係議案

人権擁護委員の任期満了に伴う推薦について、意見を求められましたので、これに同意しました。

人権擁護委員

磯部

松井

忍氏

人事関係以外の議案

●安中市立安中小学校校舎耐震補強及び大規模改造建築工事請負契約の変更契約締結について

●安中市農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定について

農業委員会等に関する法律の一部が改正され、農業委員の公選制が廃止され、市長が議会の同意を得て農業委員を任命すること、新たに農地利用最適化推進委員を設けること等の改正を行い、農業委員の定数を十七人に、農地利用最適化推進委員の定数を十七人とするため、条例を制定するものです。

●安中市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利

用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に定められた事務の処理について、庁内連携を行うため、条例を新たに制定するものです。

●議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

●安中市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

農業委員会等に関する法律の一部改正により、農業委員会が委嘱する「農地利用最適化推進委員」が新設されるため、その報酬額を定めるとともに必要な改正を行うものです。

●安中市旅費支給条例の一部を改正する条例について

●安中市市税条例の一部を改正する条例について

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が、平成二十八年一月

一日から施行されることに伴う改正等、条例の改正を行うものです。

● **安中市大規模太陽光発電設備設置促進条例の一部を改正する条例について**

大規模太陽光発電設備設置に係る奨励措置である固定資産税及び都市計画税の課税免除期間について「八年度分」から「三年度分」に短縮するため、条例の一部を改正するものです。

● **安中市農漁業災害対策特別措置条例の一部を改正する条例について**

● **安中市小口資金融資促進条例及び安中市中小企業設備近代化利子補給条例の一部を改正する条例について**

● **安中市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する条例について**

建築基準法の一部が改正されたことに伴い、確認審査・検査等に係る手数料の改正を行い、建築主事を置く市町村による計画通知・検査、道路位置指定等に係る手数料を新たに徴収するため、条例の一部を改正するものです。

● **平成二十七年安中市一般会計補正予算 (第四号)**

● **平成二十七年安中市水道事業会計補正予算 (第一号)**



耐震補強が完成間近の安中小学校

請願・陳情

皆様から提出されました請願および陳情の審査結果は、次のとおりです。

- **農道拡幅及び側溝敷設等に関する請願**
- **市道原五八八号線の拡幅改良について陳情**

議会改革特別委員会報告

第四回定例会では、初日と最終日に議会改革特別委員会を開催し、その中で、「議会基本条例策定部会」「政治倫理条例策定部会」の二部会を立ち上げ、策定に向け、研究を始めました。

また、本委員会では、そのほかにも子ども議会などの新たな取り組みについても、積極的に協議・研究を行っております。

次の定例会(予定)

次の定例市議会は、二月二十九日から三月十八日までの十九日間の会期で開催される予定です

- ◆ **2/29日** 開会、議案の上程等
- ◆ **3/2日** 議案の上程等、施政方針、議案の上程等
- ◆ **15日** 一般質問
- ◆ **16日** 一般質問
- ◆ **18日** 委員長報告、採決等、閉会

編集後記

昨年一年を表す字として「安」が選ばれました。戦後七十一年、私たちの孫子の時代にも、安全で安心して暮らせる平和な社会を手渡したいものです。「高齢化社会」から「人口減少社会」へと関心が移っています。住みよくて安全な安中市です。少しでも人口を増やせるよう努力が求められます。

中山道という街道文化が私たちの祖先を育んできました。外国人観光客が史上最高の数で日本を訪問する時代です。街道文化の基本が「おもてなし」だとすれば、安中市を訪れるお客様たちに、どう接するか、人口を増やすヒントがあるかもしれません。(金井)

連絡先	
安中市役所	議会事務局宛
☎382-1111	内線 1349番
編集委員	
◎武者 葉子	
○太田 進一	
○金井 久男	遠間 大和
○金井 久男	小林 克行
○小川 剛	柳 沢 吉保